



1994年に始まった全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」は全国の高校写真部・サークルに新しい活動の場や目標、そして出会い・交流の機会を提供し、高校生らしい創造性や感受性の育成と活動の向上をもって、学校生活の充実と特別活動の振興に寄与することを目的とした大会です。

全国の高校写真部・サークルなどから、共同制作による作品（組写真）を募集し、作品審査及びプレゼンテーション審査によって全国11ブロックから優秀校18校を選抜し、本戦大会開催地である東川町にて、同一条件下、高校写真部の全国一を目指します。



共同制作による作品（組写真）を募集します。

初戦応募（応募要項）

テーマ・題材は問いません。自由な発想で取り組んでください。

初戦作品応募締切 2018.5.18 Fri 必着

1. 写真甲子園2018 初戦応募

- 応募資格……全国の高等学校に所属していること。（全日制・定時制は問わない）
選手登録……各校 1チーム3名で応募ください。
※写真部・サークルまたはチームを新たに結成して応募することができます。
※登録選手はブロック審査会出場予定者となります。（変更可）
作品テーマ……テーマ・題材は自由です。

2. 初戦応募方法

1校8枚の組写真を1作品として、ご応募ください。

3. 作品応募規定

- ①1校から1作品の応募とし、複数応募はできません。
②作品は8枚の組写真を1作品としてプリントで応募してください。
また、作品画像データ（JPEG）のCD又はDVDも一緒に送付ください。
③プリントは白黒・カラーは問いません。
④プリントのサイズは六ツ切（203mm×254mm）～ワイド六ツ切（203mm×305mm）またはA4の写真用紙でご応募ください。
※このサイズ以外での応募は審査対象となりません。
⑤作品裏面には、規定の「作品票」を作品番号順に貼付ください。
※貼付の際には天地確認をお願いします。
⑥「応募票」は必要事項を漏れなく記入し、作品とともに送付ください。
⑦応募作品は配達記録の残る宅配便及びレターパック等で送付ください。
※到着の遅れや送付中の事故等の責任は一切負いません。
⑧応募作品は返却いたしません。
⑨応募作品は、写真甲子園実行委員会が主催・共催・後援などを行う展示会、印刷物、Webサイト、出版物及びテレビなどに使用することがありますのでご了承ください。
※応募票及び作品票は、Webサイトからダウンロード（PDF）できます。



Caution

応募作品の中で下記①～③に違反している又はその疑いがあると判断した場合は、ブロック審査会及び本戦大会への出場を取り消すことがあります。

- ①応募時点で学校に所属する学生本人が学校入学後に撮影した作品。
②加工【写真の合成、写真に写っているものを消去する（レンズのホコリや小さなゴミを除く）等】がされていない作品。
※多少のトリミングや明るさの調整やコントラストの調整、彩度の調整は加工に含まれません。
③他のコンテスト等で入選されていない未発表作品。
・同じ原稿からトリミングや画像補正等して制作した作品も含む
・連続して撮影した前後のカットや同条件で同時期に撮影した作品も含む

初戦審査会（非公開）

初戦審査会は、ブロック毎に作品審査を行い、ブロック審査会出場校80校を選抜します。

※ブロック審査会出場校数は、各ブロックの出場枠（通常枠＋倍率枠）×5の倍数とし、点数の上位の学校から順に選抜します。

- 通常枠 11校（ブロック毎に1枠ずつ振り分ける）
□倍率枠 5校（通常枠を除く残り5校をドント方式により振り分ける）
※ドント方式……全国11ブロックにおいて、応募校数をそれぞれ1、2、3……という正数で順次割っていき、割った応募校数の大きい順に出場枠をブロックへ配分します。
□選抜枠 2校（ブロック審査会後に選抜します）

1. 日時 2018年5月24日（木）

2. 会場 非公開

3. 審査委員（敬称略）

- 審査委員長 立木 義浩（写真家）
審査委員 長倉 洋海（写真家）
鶴巻 育子（写真家）
公文 健太郎（写真家） 他

4. 審査結果発表

ブロック審査会出場校（80校）の発表は5月24日（木）18時にオフィシャルサイト及び公式SNS（Facebook、Instagram、Twitter）にて行います。

ブロック審査会は、初戦応募作品の制作意図やねらいをプレゼンテーションし、審査、講評を行い、本戦大会出場校18校を選抜します。

ブロック審査会（公開） 2018.6.9 Sat, 6.10 Sun, 6.16 Sat, 6.17 Sun

1. 日時及び会場 右記の表を参照。

2. 審査委員（敬称略）

- 代表審査委員 立木 義浩（写真家）
長倉 洋海（写真家）
鶴巻 育子（写真家）
審査委員 公文 健太郎（写真家） 他

3. 審査結果発表

審査会当日、会場にて本戦進出ブロック代表校の発表を行い、同日18時にオフィシャルサイト及び公式SNS（Facebook、Instagram、Twitter）にて公開します。
選抜校は、後日オフィシャルサイト及び公式SNS（Facebook、Instagram、Twitter）にて発表します。

Table with columns: 開催日, ブロック, 開催都市. Rows include dates like 6/9 (土) for 北海道, 東京, 九州・沖縄, etc.

<全国11ブロック>

- 北海道ブロック……北海道
●東北ブロック……青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
●北関東ブロック……茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県
●南関東ブロック……千葉県・神奈川県・山梨県
●東京ブロック……東京都
●北陸信越ブロック……新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県
●東海ブロック……岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
●近畿ブロック……滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
●中国ブロック……鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
●四国ブロック……徳島県・香川県・愛媛県・高知県
●九州・沖縄ブロック……福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

全国から代表18校が「写真の町」東川町に集い、全校同一条件で撮影を行い、全国一を目指します。 ※本戦大会の概要は予告なく変更となる場合があります。ご了承ください

本戦大会 2018.7.31 Tue - 8.3 Fri 招聘期間 2018.7.30 Mon - 8.5 Sun

1. 大会会期 2018年7月31日（火）～8月3日（金）

<招聘期間> 2018年7月30日（月）～8月5日（日）

2. 大会会場

式典・公開審査会⇒東川町（東川町農村環境改善センター）
撮影フィールド ⇒東川町～美瑛町～上富良野町～東神楽町～旭川市ならびに大雪山国立公園一帯

3. 審査委員（敬称略）

- 審査委員長 立木 義浩（写真家）
審査委員 長倉 洋海（写真家）
鶴巻 育子（写真家）
公文 健太郎（写真家） 他

4. 大会賞

- 1. 優勝<北海道知事賞> 1校 優勝旗・優勝盾・賞状・メダル・副賞
2. 準優勝<北海道新聞社賞> 1校 賞状・メダル・副賞
3. 優秀賞<東川町長賞ほか> 5校 賞状・メダル・副賞
4. 敢闘賞 11校 賞状・メダル・副賞
5. 町民が選ぶ特別賞 該当校 賞品
6. キャノンスピリット賞 1名 賞品

5. 会期日程（予定）★は一般の方も参加できます。

- ・7/30（月） ・代表校東川町入り ・オリエンテーション
・7/31（火） ★開会式 ・歓迎夕食会 ・オリエンテーション ・ホームステイ
・8/ 1（水） ・撮影 ・セレクト会議 ★公開審査会
・8/ 2（木） ・撮影 ・セレクト会議 ★公開審査会
・8/ 3（金） ・撮影 ・セレクト会議 ★公開審査会 ★表彰式／閉会式
・交流会
・8/ 4（土） ・（国際写真フェスティバル参加等） ・選手・監督交流会
・8/ 5（日） ・解散

6. 作品展

- ・7/31（火）～8/5（日） ★写真甲子園2018全応募校作品展（東川町農村環境改善センター）
・9/ 1（土）～9/6（木） ★写真甲子園2018本戦作品展（東川町文化ギャラリー）

7. 本戦大会経費

最寄空港からの交通費並びに宿泊費は主催者が負担します（各校選手3名と担当顧問1名）。大会期間中の移動手段や宿泊先、食事は主催者が用意します。
※宿泊先は、チームワークを重視し、各学校単位で選手・監督が合宿スタイル（同じ宿舎）で宿泊するコテージとなります。
※コテージは1棟に2校の宿泊となる場合があります。



初戦作品応募締切
2018.5.18 Fri
事務局長 必着
Must arrive

初戦審査会 (非公開)
2018.5.24 Thu

ブロック審査会 (公開)
2018.6.9 Sat
北海道 / 東京 / 九州 / 沖縄

2018.6.10 Sun
東北 / 東海 / 中国

2018.6.16 Sat
近畿 / 四国 / 北陸信越

2018.6.17 Sun
北関東東 / 南関東

本戦大会
2018.7.31 Tue-8.3 Fri
2018.7.30 Mon-8.5 Sun

【主催】
写真甲子園実行委員会

【協賛団体】
美瑛町
旭川市
東神楽町
上富良野町
東NTTチター北海道
旭川福祉専門学校
旭川信州大学
旭川信州短期大学
旭川新聞社
北海道新聞社
全国新聞社事業協議会
東川町写真の町実行委員会

【後援】
旭川市
東神楽町
上富良野町
東NTTチター北海道
旭川福祉専門学校
旭川信州大学
旭川信州短期大学
旭川新聞社
北海道新聞社
全国新聞社事業協議会
東川町写真の町実行委員会

【特別協賛】
キヤノン
キヤノンマーケティングジャパン(株)

【協力】
後朝日新聞出版 サレカマス
後モーター株式会社 カマス
後学研ブラス OAPA
後NTTチター北海道
後日本カメラ社 日本カメラ
後日本写真企画 ネットコム
後光栄社 ネットコムデジタル
富士フイルムイメージングシステムズ株式会社
富士フイルムシステムズ株式会社
日本写真工業品工業会
東京総合写真専門学校
東京工業大学芸術学部写真学科
九州産業大学
東京工業大学芸術学部写真学科

【(公財)民間放送教育協会
NHK
共同通信社
北海道高等学校文化連盟
(公社)全国高等学校文化連盟
北海道高等学校文化連盟
北海道教育委員会
北海道
文部科学省
旭川市
旭川福祉専門学校
旭川信州大学
旭川信州短期大学
旭川新聞社
北海道新聞社
全国新聞社事業協議会
東川町写真の町実行委員会

25th Syakou STEP EXEN 2018



写真の町・東川町と国際写真祭

東川町は、1985年に世界でもユニークな「写真の町宣言」を行いました。そして、写真文化を町づくりの核とし、同年から国際的な写真賞「写真の町東川賞」の制定授与、写真祭「東川町国際写真フェスティバル(愛称:東川町フォトフェスタ)」などを開催。2018年は、写真賞、写真祭とも34回目を迎えます。東川町フォトフェスタは国内では最も歴史のある写真祭です。高校生たちが、北海道の豊かな風土の中で、本物の写真と出会い、より広く、より深く学ぶ機会となるよう、フェスティバル期間中に写真甲子園の会期を設定しています。

初戦応募までの流れ(例)

- ◆チームを組もう!
学校の中で3人1組のチームを結成しよう。未経験者同士で組んでもOK!
ただし、応募できるのは1つの学校から1チーム1作品のみです。
 - ◆テーマを決めて、写真をたくさん撮ろう!
8枚1組の組写真のテーマ・方向性を決めて、たくさんシャッターを切るよう。
 - ◆撮影した写真をプリントアウト(現像)しよう!
撮影した写真をプリントアウトして、写真を確認しよう。
 - ◆組写真を構成して、作品タイトルやメッセージを考えよう!
プリントアウトした写真からチームで話し合い、テーマ・方向性にあった写真をセレクトし、組写真を構成。作品タイトルやメッセージを考えよう。作品タイトルやメッセージを工夫することで審査委員に撮影意図がしっかり伝わるぞ!
 - ◆作品票を貼付しよう!
応募する作品が決まったら、作品票を作品番号順に作品の裏面に貼りつけよう。貼付の際は天地確認を忘れないようにしましょう!
 - ◆応募票に記入しよう!
応募票に必須事項を記入しよう。記載漏れがないようにご注意ください。
 - ◆最終確認をし、5月18日(金)必着までに余裕を持って発送しよう!
発送の準備が整ったら、応募条件を満たしているか最終確認をしよう。⇒作品票のチェック項目を活用 ※発送する際は配達記録が残る宅配便及びレターパック等で発送しましょう。
- みなさんの思いが詰まった最高の作品をお待ちしております。**

写真甲子園への道のり

- 1 全国の高等学校 作品制作
- 2 初戦への応募(応募締切 2018年5月18日(金))
- 3 初戦審査会……ブロック審査会出場校80校決定
- 4 ブロック審査会…本戦大会出場校18校決定
- 5 本戦大会 撮影…大雪山国立公園の麓、主催1市4町一帯のフィールドセレクト会議
公開審査会
表彰式・閉会式

初戦応募作品づくりをサポート

ご希望の学校へインクジェット用紙をプレゼント!
■提供: キヤノンマーケティングジャパン株式会社

ご希望の学校へ印画紙をプレゼント!(先着80校)
■提供: 富士フイルムイメージングシステムズ株式会社

コンパクト三脚+雲台を無料貸出!
■提供: マンプロット株式会社

プレゼント

初戦全応募校に
PHOTO PRESSO フォトブック1冊 無料体験クーポンをプレゼント!
■提供: キヤノンマーケティングジャパン株式会社



名誉顧問/一般財団法人日本カメラ財団理事長
森山 真弓

「第25回全国高等学校写真選手権大会」の開催にあたって

第25回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2018」が、本年も北海道を代表する大雪山の麓に広がる東川町・美瑛町・上富良野町・東神楽町・旭川市を舞台に開催されます。

写真甲子園は、日本全国の高校生にとって写真の創作活動を通じて、技術力や表現力だけでなく、若者らしい創造性や感受性を磨いてもらう大変有意義な大会です。写真甲子園を勝ち抜く合言葉「努力+友情=勝利」の先には勝敗の結果以上に、地域を超えた高校生同士の出会いと交流があり、ここでしか味わえない最高の思い出を作ることが出来ます。

その思い出こそが今後の長い人生の中で貴重な財産となることでしょう。大会を通じて、高校生の皆さんは納得のいく写真が撮れないもどかさなどから葛藤や挫折に直面するかも知れませんが、チームワークを駆使し、試行錯誤しながら最善をつくして頑張ってください。

最後に本年も熱き戦いが繰り広げられ、感動的なフィナーレを迎えられることを願っております。皆さんのチャレンジを心からお待ちしております。



北海道知事
高橋 はるみ

第25回全国高等学校写真選手権大会の開催に寄せて

今年も大雪山国立公園の豊かな自然に囲まれた、東川町・美瑛町・上富良野町・東神楽町・旭川市を舞台に、第25回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2018」が開催されます。

昨年は526校の参加を得るとともに、この大会をモデルとする映画が公開されるなど、「写真甲子園」は四半世紀をかけて高校写真部のあこがれの大会へと成長してきました。

チームが一丸となって、テーマを見つけ出し作品を創り上げるこの大会は、写真の技術力や表現力の向上につながることはもちろん、全国から集まる仲間や地域の方々との貴重な交流の機会になります。

皆さんには、高校生である今だからできる経験や出会いにより、かけがえのない思い出をつくってほしいと思います。

本戦は、真夏の北海道で開催されます。皆さんのチャレンジを心からお待ちしています。

●ご応募・お問い合わせ先●

写真甲子園実行委員会事務局

〒071-1423 北海道上川郡東川町東町1丁目19-8 東川町写真の町課内
TEL.0166-82-2111 FAX.0166-82-4704

HP <http://syakou.jp/> E-mail photo@town.higashikawa.lg.jp
写真甲子園公式SNS Twitter @syakou_
Facebook @syakou.higashikawa
Instagram @shashin.koushien